

ふくりじちよう
副理事長からごあいさつ

みなと障がい者福祉事業団 副理事長 平井 照子

新年明けましておめでとうございます。昨年は新型コロナウイルスが終息せず、当たり前でなくなった日常への戸惑い、人と会えない寂しき、明日への不安が続いた一年でした。不安視されながらも、オリンピック・パラリンピックが開催され、障害を言い訳にせず、努力に努力を重ねて限界に挑むアスリートの姿は、多くの人に感動と勇気を与えました。こうした社会参加という交流の場を通し、障害者への理解が生まれ、ノーマライゼーション社会の実現に向かう機会になっていくのだと思います。事業団は、再建に取り組んでいた経営が改善し、就労支援の強化も図られ、コロナ禍でも期待に応える実績を上げています。また、就労定着支援事業も始まりました。利用者の方が望む就労を目指して、多様な働き方を支援するなど、一人一人に寄り添う運営をしています。

今、親たちの一番の悩みは暮らしに移っています。「私が逝ったら、この子の世話は誰が・・・」という不安を想像する皆さんは、親以上の不安で胸が押しつぶされそうでしょう。“働く”と“暮らす”は表裏一体。事業団でも考えていかななくてはならない課題だと思っています。そのためにも、体力のある揺るぎない組織にしなくてはなりません。安心して暮らしていける地域にするために、今年も諦めることなく一歩でも前へ進めて行くことを心に期しますので、変わらぬご支援をよろしく願います。



ステップアップ

題字：渡邊 眞観 作 (書道家 兼 事業団)

2022年 新年号 (vol. 36)



みなさ～ん、あけましておめでとうございます！



とくていひえいりかつどうほうじん
特定非営利活動法人

みなと障がい者福祉事業団

〒105-0014 港区芝1-8-23

港区立障害保健福祉センター5階

電話 03(5439)8062

FAX 03(5439)2515

<http://www.minato-jigyodan.org>

港区就労支援センター「かもめ」

就労実績（令和3年7月～令和3年11月）

就労支援センター「かもめ」登録者の就労実績です。

4名の方が就職されました。

7月	1名（知的）	農園
8月	1名（精神）	事務サポートスタッフ
10月	1名（精神）	事務（在宅）
11月	1名（精神）	スーパーマーケット

（お詫び）ステップアップ2021年夏号（Vol.35）の3ページ目「就労実績6月の2名は、3名の誤りでした。次の通り訂正すると共にお詫び申し上げます。

6月	3名（精神）	事務補助、清掃、非公表
----	--------	-------------

第13回永年勤続表彰式

新型コロナウイルス感染予防の観点から、第13回永年勤続表彰式は中止しました。

が、以下の表彰対象者に対し、表彰状と記念品を贈呈いたしました。

勤続2年	勤続4年	勤続6年	勤続8年	勤続10年	勤続15年	勤続25年
18名	12名	12名	3名	11名	1名	1名



たまり場・サロン事業の案内

君も僕も友達になろう、仲間を作ってつながれる場所！

就労支援センター「かもめ」では、現在働いている、またはこれから働こうとしている障害のある方の気軽な交流の場としてたまり場とサロン事業のふたつをご用意しています。友達が欲しい人、相談ごとがある人、どんどんいらしてください。みなさまのご参加を心よりお待ちしております。

《たまり場》

毎週金曜日（第五金曜日を除く）、港区在住の就労している障害のある方々の仲間づくりの場として、港区立障害保健福祉センター5階（場所は、変更することがあります。）で行われています。職員も参加し、参加者と話をしたり、ゲームやカラオケなどをして過ごします。「職場の緊張感から解放され、仲間とつながれる場所があると安心」と多くの参加者から好評を得ています。



《サロン事業》

毎月第三土曜日、午後1時から4時の間、港区在住で就労している、または仕事を探している障害のある方々を対象に行われています。

新橋にあるカフェ・ドゥー（港区立生涯学習センター1階）に集合し（注意：1月15日、2月19日のみ港区立障害保健福祉センター5階になります）、職員が参加者と気軽に話をした後、外出をして過ごします。最近では、日比谷公園を散歩したり、江戸東京博物館を見学しました。「月に1回サロン事業があることで張り合いを持つことができ、やる気にもつながっています。」とのうれしいご意見も参加者の方からいただいています。

就労移行支援事業「はばたき」

令和4年1月から就労定着支援事業が始まりました。

令和4年1月から事業団の新しい事業として、就労定着支援事業が始まりました。

これまで就労移行支援事業はばたきを利用した方が就職した場合、6か月定着のためのアフターフォロー期間終了後に、港区在住の方は事業団の就労支援センターかもめに、港区外在住の方はお住まいの自治体の就労支援センターに支援を引き継いでいました。

今後、事業団の定着支援事業をご利用いただくことにより、就職後安心して働き続けられるよう、初めの6か月に加えさらに3年間、お住まいの自治体に関わらず、引き続きはばたきの支援員が相談や面談を行ってサポートします。

就職した方が長く就労できるように、事業団は皆さんを今まで以上にサポートしていきます。新しく始まる定着支援事業をどうぞよろしく願いいたします。

就労移行支援事業利用から定着支援事業利用までの流れ



新橋カフェ・ドゥー < 港区立生涯学習センター1階 >

ご寄付ありがとうございました。

カフェ・ドゥーの20年以上使用した冷凍冷蔵庫は、経年劣化により調子が悪くなり、部品の交換も困難になりました。一部、赤い羽根共同募金からの資金を使わせていただき新しい冷凍冷蔵庫に買い替えました。ご寄付ありがとうございました。

港区社会福祉協議会主催「2021夏！体験ボランティア」の活動協力団体として、港区内の小学1年生から大学1年生までの10名がカフェ・ドゥーで、のべ16回ボランティアを体験しました。この活動に積極的に協力したため、港区社会福祉協議会からタオルと雑巾タオル約100枚を寄付して頂きました。ありがとうございました。

臨時休業のお知らせ

港区立生涯学習センターの施設改修工事のため、令和3年12月1日（水）から令和4年2月28日（月）までカフェ・ドゥーは臨時休業をしています。営業再開は令和4年3月1日（火）からの予定です。

大門トリア < 都営地下鉄大門駅B1階 >

大門駅のすぐそばに本社を構え、グリーンエネルギー事業を展開されている株式会社afterFIT様は、平成30年8月からトリアの焼成パンとサンドイッチを毎日購入され、売上に大変な貢献をいただいています。社員の方が毎日商品を受け取りに来店されることで、利用者との会話が生まれ、就労意欲向上にもつながりました。

この度、事業団からの推薦により、令和3年12月4日に開催された第40回障害者週間記念事業の式典において株式会社 afterFIT 様へ武井雅昭 港区長から感謝状が贈呈されました。事業団としましても改めて心から感謝申し上げます。



センター清掃

港区主催の「地域で共に生きる障害児・障害者アート展」にセンター清掃の利用者2名の作品を出展いたしました。

2点のうち1点は、作者の友人がミトコンドリア病メラスという難病になり、日々大変な状況からいつか治るようにと“祈り”を込めて描き上げた作品です。

もう1点は、日頃からほのぼのとした温かさを感じるイラストを描く方の作品で、“動物たちと鳥たちのパレード”という作品です。

展示会は、令和4年2月16日（水）～3月7日（月）増上寺で開催される予定です。ぜひ、ご覧になってください。



『祈り』

みなみあざぶ 南麻布清掃

令和2年4月の開始以来、同じメンバーで作業に取り組んできた南麻布四丁目福祉施設の清掃事業に初めて新しい利用者が加わりました。

新しいメンバーYさんは、体力面を考慮し、午前中のみのが就労となりますが、清掃は午前中が勝負ですので、新戦力の加入は大変助かります。さっそく従来のシフトからYさんを加えたシフトに変更し、旧来のメンバーの負担が少しずつでも軽くなるよう手配しました。ただその分、各利用者にはこれまで以上に細かいところにも目を光らせてもらえることを期待しています。

新しい利用者が加入しましたが、いまはまだ誰かがお休みするときには事業団の本部からヘルプを呼ばなければなりません。また、事業団本部とは少々距離があるため突然のお休みによる人員減への対応は引き続き難しい状態となっています。さらに利用者を増やし、南麻布四丁目福祉施設だけで作業を回せるようにできたらと思っています。

はなみずき（港区役所内福祉売店）

昨年7月からはなみずきに加わった新しい仲間、分身ロボットOriHimeは、お客様からも好評を受け、NHK（首都圏ネットワークで放送）、また海外のCNNなど様々なメディアの取材を受け、注目度の高さをうかがわせました。

週4日（水曜日はお休み）、13時から14時までの1時間という短い時間でしたが、たくさんのお客様が来店され、「お薦めは何ですか？」と聞かれると、元氣よくお菓子や野菜などを紹介していました。パイロットと呼ばれる利用者さんは、自宅に居ながら遠隔操作でお客様との会話を楽しんでいました。途中からはもう一人参加して、より賑やかでした。色々な働き方の好事例として、今後も不定期ですが参加される予定です。よろしくお願ひします。



☆令和3年度 賛助会費納入のお願い☆

事業団では、活動に共感し、経済的支援をしていただける賛助会員を募集しています。今年度も事業団の趣旨・目的にご理解を賜りますよう、お願ひ申し上げます。賛助会費は、個人、団体ともに1口3,000円で、口数は何口でも結構です。お手数ですが、郵便振替「払込取扱票」により最寄りの郵便局でお払込みくださいますようお願い申し上げます。事業団事務局での納入も承ります。

郵便払込み先：特定非営利活動法人 みなと障がい者福祉事業団

00180-4-594846

◎ご連絡いただければ、「払込取扱票」をお送りいたします。